

キャリアパスに関する講義を行いました(歯学部)

日時：令和4年10月24日（月）3、4限目

対象：歯学部2年生 49名

講師：きらめきプロジェクト副プログラム責任者 清水 真弓先生

歯学部2年生を対象に、きらめきプロジェクト副プログラム責任者であり、歯科部門統括責任者である清水 真弓先生が、「歯科医師としてのキャリアパスと男女共同参画」をテーマに講義を行いました。その後、学生たちは、自分たちの未来の生活について、グループ毎に活発な討論を行いました。

歯科医師としてのキャリアパスと
男女共同参画

D2 TBL 2022.10.24

九州大学病院 口腔歯学部
九州大学病院 きらめきプロジェクト 清水真弓

Kyushu University Asia Week 2022

医療人の働き方～フィリピンと日本の現状～ シンポジウムが行われました

11月4日（金）に、国際医療部アジア遠隔医療開発センターの協力の下、オンラインにて、Kyushu University Asia Week 2022「医療人の働き方～フィリピンと日本の現状～」と題し、シンポジウムが行われました。このシンポジウムでは、きらめきプロジェクト顧問の樫木 晶子先生、副プログラム責任者永吉 絹子先生が各々報告と発表を行いました。会の後半には、フィリピンの医療従事者の方の発表と報告があり、フィリピン・日本の医療人たちの現状を知り、よりよい働き方を探っていくための活発な意見の交換の場となりました。

Kyushu University Asia Week 2022

医療人の働き方
～フィリピンと日本の現状～
フィリピンと日本、それぞれの医療人の現状を知り、
よりよい働き方を探っていきます

2022年
11月4日(金) 10:00～12:00

Zoomによるオンライン開催。
本会では関係者参加し、観覧等は受けません。予めご了承ください。
参加希望の方は、下記URLもしくはQRコードからの申し込みください。
当日参加も可ですが、できる限り事前の参加申込みをお願いします。
https://www.tenmed.med.kyushu-u.ac.jp/medhok_min/program_viewer.php?FocusEventIdNum=1018

【当日スケジュール】
10:00 開会挨拶 山崎浩太郎 先生
10:10 発表：日本の女性医療者の現状と将来 九州大学病院 永吉 絹子 先生
10:30 発表：フィリピン女性の医療者の現状 九州大学病院 永吉 絹子 先生
10:50 総論：医療従事者の働き方 樫木 晶子先生
11:10 総論：大学病院における医療人の働き方の現状について 九州大学病院 樫木 晶子 先生
11:30 ディスカッション 樫木 晶子先生
11:50 閉会挨拶 山崎浩太郎 先生

技術協力：九州大学病院 国際医療部アジア遠隔医療センター

九州大学病院 臨床教育研修センター

きらめきプロジェクト

〒812-8582 福岡市東区馬出3丁目1-1

TEL・FAX：092-642-5203

E-mail：kirameki@jimu.kyushu-u.ac.jp

URL：https://www.kiramekipj.kyushu-u.ac.jp/

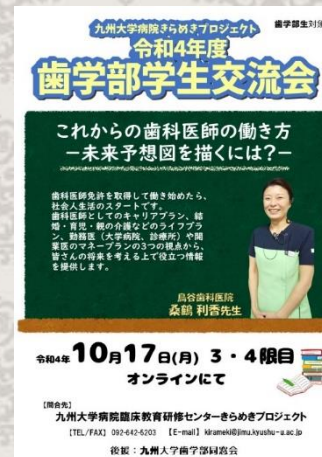


きらめき通信 vol.71

2022年11月（隔月発行）

歯学部学生交流会を開催しました

10月17日（月）に、オンラインにて、講師としてきらめきプロジェクトOGでもある鳥谷歯科医院 桑鶴 利香先生をお迎えし、令和4年度歯学部学生交流会を開催しました。桑鶴先生は、「これからの歯科医師の働き方～未来予想図を描くには？～」と題し、歯科医師の未来、働くということ、更にはキャリアプラン、マネープランに至るまでお話してくださいました。学生たちは、桑鶴先生のととてもわかりやすく、情熱あふれるお話にどんどん引き込まれ、講義終了後には先生へ多くの質問を寄せていました。桑鶴先生はそれらに丁寧に答えてくださり、今回の交流会も、学生たち自身が未来を考える良い機会となったようでした。会の最後には、九州大学歯学部同窓会会長久保秀郎先生より、「これからの歯科診療の為、がんばってください」との熱いお言葉をいただきました。



～歯学部学生交流会 参加学生の声～

ライフプランについて、だいたい何歳くらいで結婚したいなといった話は友達と軽くすることはあるけれど、あまり真剣に考えたことがなかったので今回の授業はいい機会になりました。

仕事に対する価値観はそれぞれ異なるので、自分の価値観にあった職業や働き方ができるのがよいだろうと思う。まだまだ可能性にあふれていると勇気づけていただいたので、自分がなぜ働くのか、仕事に何を求めるのか、深く考えてみたいと思う。

いつもの座学の勉強とは違い、実際に大学病院の外で働いている先生のお話を聞くことで、よりリアルな働き方と現実問題を知ることができたと思います。今までは、社会が変化していくなかで変わっていく歯科医師の需要について考え、それを受けどんな歯科医師になりたいのかという自分の理想の歯科医師像を考える機会はたくさんありましたが、自分のライフイベントに合わせてそのときの自分にあった働き方はどういったものなのかを考える機会はあまりなかったので、新鮮でした。

日々頑張っている、きらめきプロジェクト所属のドクターを紹介します

◎自己紹介◎

卒後7年目の歯科医師で、公務員の夫と3歳の息子との3人家族です。

◎所属まで◎

九大病院で研修終了後、医局員として勤務し3年目に出産のため退職。半年後、再び医員として復職しましたが、育児との両立が難しかったため、昨年度よりきらめきプロジェクトに参加させていただき外来診療を続けています。

◎所属してから◎

余裕を持って保育園のお迎えに行けるようになり、帰宅してからも一緒に遊ぶ時間が増えたように感じます。「もうー！！！」と思うことも多々ありますが、保育園に迎えに行った際には「ママー」とニコニコ笑いながら走ってきてくれる姿に日々癒されています。

先日保育園の担任の先生から「主任の先生が、〇〇君のお母さん凄く綺麗なフォームで〇〇君を追いかけていたわ！！！」とっておりましたと報告を受け、嬉しいような恥ずかしいような複雑な気持ちになりました（笑）。

◎今年度の目標◎

認定医取得のための準備、九州大学歯学部と熊本大学病院共催の「多職種連携の災害支援を担う高度医療人養成」プログラム修了を目標に努力致します。

◎最後に◎

研修医時から所属している科で、引き続き外来業務に従事しております。先生方や患者さんのおかげで日々成長することができ、感謝しております。患者さんも長期的に担当している方が多くいらっしゃいます。中には年々一人で通院することが難しくなっても、ご家族と共に通院してくださる方もおり、歯科医師冥利に尽きます。私がこうして働くことができるのは、職場の先生方、スタッフの方々、理解あるパートナーのおかげです。感謝を忘れず、今後も自己研鑽を積んで参りたいと思います。



卒後15年目の医師です。

夫の海外留学に帯同した後、2021年5月よりきらめきプロジェクトに所属しております。

産休・育休よりも長い3年間のブランクのため仕事と育児の両立に自信が持てず、無理のない範囲でキャリアを継続できるよう医局と相談の上、きらめきプロジェクトに参加させていただいております。

現在、週2回大学病院で新患外来や検査を担当し、週3回市大病院で外来勤務をしています。当直がなく比較的早い時間で勤務が終わるため、子供達が小学生になっても塾や習い事の送迎、宿題の確認など意外と親の出番は減らなかったのですが、家事や育児の時間を確保することができ、精神的に余裕がある生活を送れています。

また、大学病院では今後専門医を取得する予定であるサブスペシャリティ領域の専門外来や臨床研究にも携わることができ、しっかりと臨床や研究をされている先生方よりはゆっくりですが、自分のペースで専門診療を継続できています。

これもきらめきプロジェクトや非常勤での勤務に理解を示してくださった医局の先生方のおかげであり、心から感謝しております。今後も周囲の方々への感謝を忘れずに、研鑽を積んでいきたいと思ひます。

